

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1570300564		
法人名	上越老人福祉協会		
事業所名	グループホームなかよし寿の家		
所在地	新潟県上越市北新保55番地3		
自己評価作成日	令和4年11月9日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=1570300564-00&ServiceCd=320
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和4年12月19日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

1. 車で2～3分圏内に母体施設である特別養護老人ホームいなほ園があり、医療・リハビリ・栄養など専門職からの助言や指導などの支援を受けることができる。日常の中では、備品や車両の貸出、施設周辺の整備や備品の修繕などにも協力がある。職員は、母体施設が組織・開催する委員会・会議などにメンバーとして参加し、情報収集や共有ができ、必要な研修への参加も行っている。また、災害訓練や実際の災害時の協力体制も整っている。その他、法人内には特別養護老人ホーム2か所(うち1か所はサテライト型)、老人保健施設、グループホーム(3か所)、小規模多機能型居宅介護(2か所)、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所があり、それぞれとの協力体制がある。地域密着事業では、待機者管理や細かな情報交換で連携している。

2. 精神科の協力病院が近隣にあり、認知症専門医による継続的な治療、観察が受けられる。

3. 施設中央(ユニット中間)には、中庭があり畑や憩いの場として位置している。冬季を除いては、季節の野菜の栽培や収穫、収穫した野菜を日々の食事に取り入れるなど、ユニット共同で活動している。また、コロナ禍で外出がままならない日々の中では、外の風を感じたり日光浴をするなど交流の場や気分転換の貴重な場となっている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○法人のスケールメリットを生かしたサービス提供について
事業所は木材の素材をいかし、柔らかく温かな雰囲気建物となっており、中庭には畑があり季節の野菜を育てている。近隣には母体施設の特別養護老人ホームがあり、職員は母体施設が組織・開催する委員会や会議などのメンバーとして参加し、情報収集や必要な研修等を行っている。また、精神科の協力病院も近隣にあり、認知症専門医の治療が継続的に受けられる。法人内には特別養護老人ホーム、老人保健施設、グループホーム(3か所)、小規模多機能型居宅介護、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所があり、各事業所との協力体制がある。地域密着事業では、待機者管理や細かな情報交換の連携ができており、法人スケールを活かし、重度化や終末期の住み替えに選択肢があり、利用者、家族の安心に繋がっている。

○居心地の良い共有スペースについて

共有スペースは感染症対策から、衛生面、安全性、行動のしやすさを重視し、配席やレイアウトの変更を行い感染対策にも配慮しながら団らんの場が提供されている。大きな窓からは明るい日差しが入り、中庭の畑や周りの田んぼの景色が見渡せ四季折々の姿を楽しませてくれる。利用者で作成する毎月のカレンダーやフロアの花瓶には花を飾り季節を感じられるよう工夫されており楽しめる工夫が所々に感じられる。

○利用者が楽しめるサービス提供について

管理者は、職員間で意見を出し合える雰囲気づくりと皆で決める姿勢を大切に、気持ちよく働ける職場となるよう尽力している。近年地域の行事が中止となり、外出制限、面会制限もある中、職員が日常生活の中で利用者のやりたい事を聞き、楽しめる事を考えて実施している。夏には流しそうめん、焼き肉の会を開催し、誕生日会には利用者が食べたい物を事業所内で作って提供している。面会もオンライン面会、窓越し面会など、工夫をしながら家族との繋がりを大切にしている。利用者と職員が共に気持ちよく過ごせることが家族の安心感に繋がっており、日常生活が楽しめるよう努めている。